

JA るもい情報誌

つなぐ

とびきり美味しい農産物。地元民に愛されるお店や、地域自慢の観光名所。寒冷地でも人の心は温かい。
そんな私たちが暮らすまちの魅力を、あなたへつなぐ情報誌です。

特集

想いをつなぐ

増毛町 さくらんぼ

遠別町 小麦

和

CONNECT
THE
HEARTS

いを つなぐ

厳しい自然の中で強く、
たくましく育まれた「いのちの味」。
その感動が食卓に届くまで、
たくさんの方の想いが
つながっています。

01 生産者

さくらんぼ農家
仙北 要さん



愛情がつまった 日本最北の果樹

増毛町

さくらんぼ



祖父から受け継いだ果樹園

りんごや洋梨など果樹生産が盛んな増毛町で、最初に収穫期を迎えるさくらんぼ。「去年は冷害があったけれど、今年は開花時期に天気が良く、出来がとても良いですね」と話してくださったのは約100年続く果樹園の3代目、仙北さん。「増毛町は日本最北のさくらんぼ産地。7月上旬から約1カ月間の収穫に向けて、1月に剪定作業を始めます。雪をかき分けながらの作業になりますが、日あたりをよくすることで赤くてキレイなさくらんぼが出来る。増毛町のさくらんぼが他の地域より糖度が高いのは昼夜の寒暖差があるからだよ!」と教えてくれました。

食べ比べができるさくらんぼ狩り

仙北要果樹園では8種類のさくらんぼを栽培し、直売やさくらんぼ狩りもやっています。JAに出荷するのは佐藤錦ですが、さくらんぼ狩りでは全ての品種が楽しめます。「僕のおすすめは、紅秀峰と南陽。紅秀峰は甘味が強いので、味が濃く感じますね。南陽は、大粒。酸味が少ない分、甘味を感じやすいですよ」と仙北さん。「みつ」という品種は食べ頃が短く直売ができないため、味わえるのはさくらんぼ狩りだけ。どの品種も例年より豊作ですが、その分たくさんの実に栄養がいくので、大粒が作りづらいという難点があるそうです。

02 JA職員

JAるもい増毛支所
生産販売課

下田 景太さん



農家さんの支援につなげること

JAで集荷したさくらんぼは、ホクレンショップをメインに道内の市場へ出荷しています。「さくらんぼは木で完熟したものを収穫するので買ったその日に食べるのが一番おいしいです」と下田さん。担当業務は果樹や野菜の受入、農産物の販売です。「仙北さんのさくらんぼを含め、増毛町産は基準となる選果板の穴の大きさが、他の産地より1mm程大きいので、同じサイズでも粒がやや大きいです。少しでも有利に販売し、農家さんに喜んでもらえることが、僕の目標です!」と語ります。



取材中に見つけたねずみみたいな
かわいいさくらんぼ。市場には出
回らないのでさくらんぼ狩りに来
た際に探してみてください!



さくらんぼは増毛町産が人気

ホクレンショップなどのスーパーマーケットを経営するホクレン商事の青果部門担当、北島さん。「うちは、輸入品は扱わない『国産野菜統一宣言』を掲げています。JAのるもいさんからは、いろんな種類の農産物を仕入れています。全て当日に店内へ並べられるのでとにかく鮮度抜群です」と話します。「販売しているさくらんぼは、ほとんどが増毛町産です。他の産地のものがあったとしても、増毛町産を選ぶお客様がほとんどですね」と嬉しい言葉もいただきました。消費者の声がより良いものをつくるための原動力になるよう、JAでは農家さんへのフィードバックも大切にしています。

03 販売店

ホクレンショップ
羽幌店
北島 誠さん



道北の厳しい冬の寒さを乗り越えて

遠別町 小麦

良質な小麦を収穫するために

「いらっしゃい」と笑顔で出迎えてくださった小森さん。高校卒業後、家業を継いだ際には米主体農家でしたが、1997年の会社設立時に小麦栽培を始め、今年で26年目。「うちでは『春よ恋』と『ゆめちから』の2品種を栽培しているよ。面積は東京ドーム約19個分だね。春よ恋は4月下旬に播種し、8月中旬に収穫する春播き小麦です。外国産の小麦は風味が軽くあっさりしていますが、春よ恋は国産小麦らしい豊かな風味と甘みがあり、主にパンやラーメンに使用されます。一方ゆめちからは前年9月上旬に播種し、道北の厳しい冬を乗り越えて、翌年7月下旬に収穫する秋播き小麦です。「栽培の難点は道北の気候変化ですが、JAの技術指導や収穫指導のおかげで、良質な小麦が収穫できる。今後は安定収量の確保と、今まで以上の知識や技術を身につけられるよう頑張ります!」

JAるもい産として全国各地へ

遠別町で収穫した小麦は初山別村産、羽幌町産とともに小麦乾燥調製施設に集められ、JAるもい産として全国の製粉工場へ出荷されます。「雪国ならではの、小麦の病気もある。その被害を最小限に抑えることが大事。どこの農家も苦労していると思うよ。そんな努力が実を結び、質のいい小麦を全国の皆様へ届けることができているよ」と教えてくれました。



農業を支えるためのサポート

事務所仕事の他、選果場で農産物の受入や出荷を担当する八巻さん。「ここでは小麦以外にも、メロンやホウレン草、ピーマンなどの野菜や、もち米を扱っていますよ」と話します。農家さんのサポートや指導も、JAの大切な仕事。「農家さんの困り事を解消するのがJAの役割なので、わからないことは必ず調べてから答えるようにしています。小森さんとはとても長い付き合い。お互い信頼し合い、意見を交わしながら良質な小麦生産に向けて励んでいます」と意欲を燃やします。



地元産「春よ恋」を使用したこだわりのパン

「Blanc」は地元産小麦がこだわりのパン屋さん。2011年の開店当初から愛されている「白パン」と「ハードトースト」は、道産小麦の中でも特に風味が良い、苫前町産の「春よ恋」を使用しています。高田さんは「特定地域の小麦を直接仕入れて商品にできるのが個人店のメリット。パンを通して小麦の美味しさを広めたい」と語ります。「両親が経営するお菓子屋を小さい頃から見ていたので、自分も何か作る仕事をしたいと思っていました。お客さんを思い浮かべながらひとつひとつ丁寧に作っています」という高田さんの柔和な人柄が、優しい味を生み出しています。



Blanc

北海道留萌市末広町3丁目4-2

☎ 0164-56-4676

🕒 10:00 ~ 16:00

🛑 休 水曜日

職員いちおしグルメ

わたしのお気に入り

MY FAVORITE

オーベルジュましけ

増毛町出身三國清三シェフ監修のレストラン

私たちがのお気に入り、極上のひとときが楽しめるオーベルジュましけさん。お米やえびを始め、ソースやデザートも増毛産。おすすめは増毛町の食材をふんだんに使った「増毛えびカレー」。ルーにもえびが使用されており、サラダにはさくらんぼが添えられています。どの料理もとてもおしゃれで、味だけでなくSNS映えする盛りつけにも力を入れているそうです。

北海道増毛郡増毛町別荘 217-1

☎ 0164-53-2222

🕒 11:30 ~ 13:30 (L.O)
17:30 ~ 19:30 (L.O)

🏠 不定休



JA るもい増毛支所
高橋千沙、斉藤歩
いちおし



JA るもい遠別支所
谷口 智之
いちおし



MY FAVORITE

麺屋 232

安い!早い!美味しい!

麺屋 232さんは道の駅えんべつ富士見内のラーメン屋さん。2020年にリニューアルオープンし、週末には町内外からたくさんの方で賑わいます。私のおすすめは「米粉ラーメン」!遠別町産の米粉を使用したモチモチした麺とあっさりスープが絡み合い、一口食べると一気に食べてしまうくらい美味しいです。食後は子供と一緒にソフトクリームを食べるのが我が家のお決まり。ジャンボソフトの大きさは、500mlペットボトル1本分くらいあります。ぜひチャレンジしてみてください!

北海道天塩郡遠別町字富士見 46-21
道の駅えんべつ富士見内

☎ 01632-9-7555

🕒 11:00 ~ 18:00 (L.O.17:30)

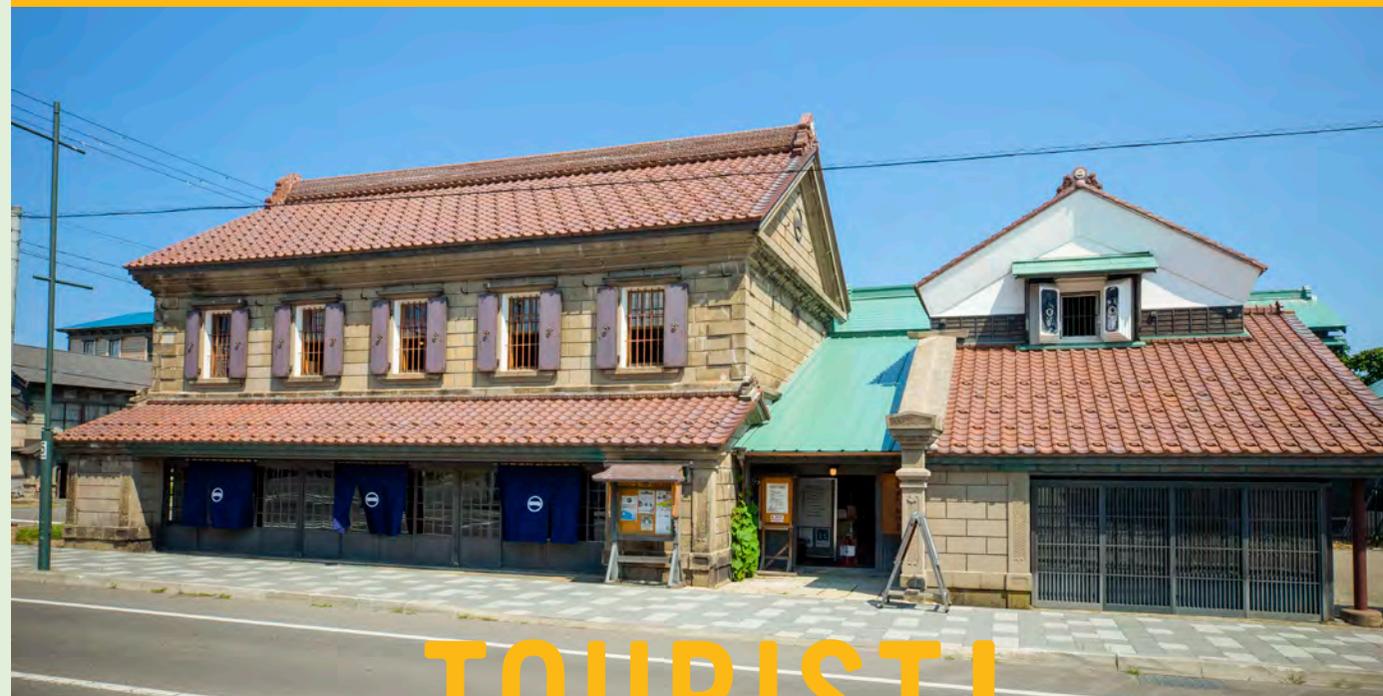
🏠 毎週火曜日、年末年始



SPOT

増毛駅前歴史的建造物群

増毛駅前の「ふるさと歴史通り」には、明治中期に建てられた国の重要文化財「旧商家丸一本間家」を始め、日本海の風雪にも耐えた石造りや木造の建物が並ぶ。



TOURIST HOTSPOT!

とっておきの場所、見つけた!



経路案内



SPOT

えんべつ 旭温泉

国道沿いの看板から約6km。温泉総選挙2021リフレッシュ部門第2位。湯上がりが心地よい「旭の湯」と、肌がなめらかになる「富士見の湯」。ふたつのあずまい癒しの湯が、あなたをお待ちしています。

人と人をつなぐ

JAるもい Members

私たちは **増毛支所** Membersです

私たちは **遠別支所** Membersです



生産販売課
工藤 健一

生産販売課
紅屋 樹

営農計画や、お米や果樹の販売と出荷業務をしています。常に農家さんの立場を考えて行動するよう心掛けています。

農家さんが使う資材の仕入れと販売を担当しています。明るく元気に！をモットーに日々励んでいます。最近、釣りを始めました！



営農課
稲垣 翔太

酪農畜産課
高橋 聖奈

選果場で青果物やお米の出荷を担当しています。JAの青年部の活動もしています。小学生の時から野球一途！ビッグボスのような男性になりたいです。

牛の人工授精や受精卵移植を担当しています。衛生面はもちろん、動物をびっくりさせないような声掛けにも気を配っています。

北限の果樹産地として、さくらんぼ・プラム・洋梨・ブルーベリー・りんごなどの果樹全般と、水稲・そば・野菜を取り扱っています。少人数ですが、意思疎通、協力体制のもと、日々業務に励んでおります。とても明るい支所です！

遠別町は日本最北のもち米産地。最北の農業高校、遠別農業高校では黒い顔が特長のサフォーク種という羊を飼育しています。JA 遠別支所ではもち米・小麦・野菜・酪農畜産物を取り扱っています。

つなぐ

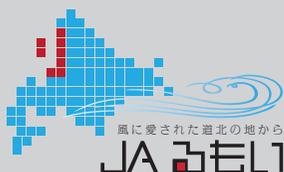
TOPICS

イベントでJAるもいをPR!

札幌ドームのイベントに参加

8月10日、札幌ドームで開催されたイベント『JAバンク北海道スペシャルナイター』に参加してきました。

感染対策を講じた中、JAるもいの販売ブースを設置し、日本ハムファイターズの試合を観戦しに来場されたお客様に情報誌「つなぐ」の配布や、るもいエリアの特産品をPRしました。



世界三大波瀾に数えられる波と風。
ここには感動を生み出す人々がいる。
厳しく、たくましく、そして強く。
るもいから届ける美味しさは、
そんないのちの味がします。
食卓へ繋ぐ、想いを繋ぐ、あなたへ繋ぐ。

発行 / るもい農業協同組合
〒078-4106
北海道苫前郡羽幌町南6条2-16-4
TEL 0164-62-2141
編集 / 企画広報室
デザイン / (株)モスク・クリエイション

Webサイト
各種SNSは
こちらから

